

降誕節第2主日

新年礼拝

<p>朝第1礼拝 9:00~10:10 朝第2礼拝 10:30~12:00 <神の招き> 前奏 ①全能なる神をたたえん バッハ 招きの詞 詩編98:1~3 交読詩編 70:1~6 讃美歌 3 <神の言葉> 聖書 創世記28:10~15 (旧約 聖書協会共同訳 42頁) ヨハネによる福音書1:35~51 (新約 聖書協会共同訳 161頁) 祈禱 讃美歌① 56 奉唱② 145 説教 「主の弟子として歩む新年」 祈禱 熊江秀一牧師 黙想 讃美歌 510 聖餐 讃美歌 81 <神への応答> 信仰告白 日本基督教団信仰告白 献金 主の祈り 宣教報告② 頌栄 27 派遣と祝福 後奏 ①イエス・キリストにほまれあれ シャイト 宣教報告①</p>	<p>夕礼拝 18:00~19:10 <神の招き> 前奏 高きにあります神にのみ栄光あれ J.S.バッハ 招きの詞 詩編98:1~3 交読詩編 70:1~6 讃美歌 213 <神の言葉> 聖書 エレミヤ書31:15~17 (旧約 聖書協会共同訳 1219頁) マタイによる福音書2:13~23 (新約 聖書協会共同訳 3頁) 祈禱 讃美歌 297 説教 「預言者を通して実現する」 祈禱 甲賀正彦牧師 黙想 讃美歌 289 聖餐 讃美歌 81 <神への応答> 信仰告白 日本基督教団信仰告白 献金 主の祈り 宣教報告 頌栄 27 派遣と祝福 後奏 イエスは我が喜び テレマン</p> <p>今週の御言葉 (ヨハネによる福音書1:43) その翌日、イエスはガリラヤへ行こう としたときに、フィリポに出会って、 「私に従いなさい」と言われた。</p>
---	--

次週の礼拝(1月12日)

① 9:00	② 10:30	☒ 18:00
説教「カナでの婚礼」熊江秀一 牧師 イザヤ書5:1~7、ヨハネ による福音書2:1~12 交読詩編2:1~12 讃美歌 4、50、286、27	説教「この方こそ神の子」佐藤潤 神学生 詩編40:1~12、 ヨハネによる福音書1:29~34 交読詩編2:1~12 讃美歌6、127、358、27	説教「洗礼を受ける」甲賀正彦 牧師 サムエル記上16:1~13、 マタイ福音書3:13~17 交読詩編2:1~12 讃美歌217、69、452、27

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、☒は夕礼拝。

■今週の祈禱課題■

- 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。
1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
 2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
 3. 2025年の歩みの為に
 4. 新年地域会の為に
 5. 教職の働きを覚えて
 6. 関連幼稚園(大宮・植竹・白百合)の3学期の為に
 7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
 8. 病気の兄弟の為に

*関東教区お祈りカレンダー 初雁教会 坂戸いずみ教会 鳩山伝道所

◇先週の説教より 「主を証しする人生」ヨハネによる福音書1:19~34、イザヤ書40:1~5 熊江秀一牧師

今年最後の主日に先週のヨハネ福音書のクリスマスに続く、洗礼者ヨハネの記事が与えられた。この福音書の告げる洗礼者ヨハネの姿は証言者である。

ヨハネのもとにエルサレムから代表団が送られ「あなたはどなたですか」と尋ねた。悔い改めのバプテスマを宣べ伝えたヨハネのもとに多くの人が集まり、民は彼に待ち望んでいたメシアへの期待を抱いた。彼はメシアなのか。ヨハネは答えた。「私はメシアではない」。ではエリヤか。あの預言者か。「そうではない」。そしてヨハネは自らを「荒野で叫ぶ者の声」と答えた。このヨハネの姿は教会の姿である。教会も主イエスを証しする声にすぎないことを心に刻むことが大切である。ヨハネは言う。「私は後から来られる方」を証しする。「私はその方の履物のひもを解く値打ちもない」。履物のひもを解くのは当時奴隷の仕事であった。ヨハネは自分をそれ以下の者と言い、自分の

栄光や誉れを求めることなく、ひたすら謙遜な姿で主を証しする使命に生きた。

なぜ洗礼者ヨハネはそこまで主を証しするのか。それはこのお方が「世の罪を取り除く神の小羊」「神の子」だからである。ヨハネが「荒野で叫ぶ者の声」と答える時に引用したイザヤ書40章から歌い始められる音楽作品にヘンデルの「メサイヤ」がある。序曲の後、テノールが「慰めよ、慰めよ、私の民を、とあなたがたの神が言われる」とイザヤ書40章1~3節を歌い始める。この歌い出しから始まるメサイヤは主イエスが神の小羊として私たちの救いのために十字架の道を歩まれることを歌う。

「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」。洗礼者ヨハネの証しするこの十字架の主をしっかりと見つめ、証ししつつ新年に向かって歩み出そう。